

# 平成 29 年度 那須塩原市建設工事成績評定結果概要

## 1. 対象

那須塩原市が発注した設計金額 130 万円を超える建設工事かつ、平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）で契約検査課が実施する完成検査を終了した建設工事を対象とする。

表 1. 建設工事完成検査件数

[単位：件]

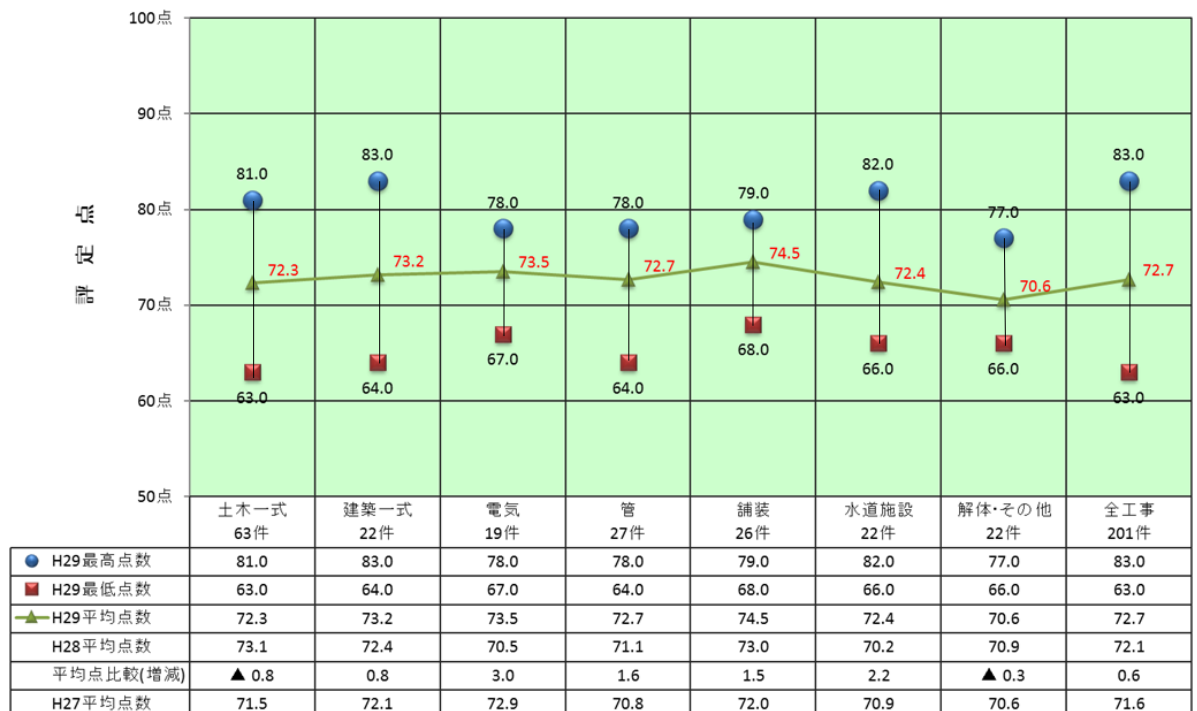
工種別	平成 29 年度	平成 28 年度	増 減
土木一式工事	63	59	4
建築一式工事	22	21	1
電気工事	19	19	
管工事	27	16	11
舗装工事	26	64	▲ 38
水道施設工事	22	30	▲ 8
解体・その他工事	22	14	8
計	201	223	▲ 22

## 2. 評定点

平成 29 年度に完成検査を実施した全工事の平均評定点は 72.7 点であり、直近 3 カ年の傾向は上昇傾向にある。(図 1 参照)

前年度と比較すると、全体で 0.6 ポイント上昇し、工種別では、土木一式工事、解体・その他工事は減少したが、それら以外の工種は上昇する結果となった。

図 1. 工事成績評定結果（工種別）



### 3. 総合評価

総合評価のランク（以下、評価という。）別に分類した場合の工事件数は、A評価は9件、B評価は66件、C評価は123件、D評価は3件、E評価は0件である。（図2参照）

A評価対象工事については、平成28年度の8件(3.6%)から、平成29年度は9件(4.5%)と僅かではあるが上昇している。（図2、図3参照）

また、B評価も同様に比較すると、平成28年度の48件(21.5%)から、66件(32.8%)と件数、割合ともに上昇している。建築一式工事、電気工事の評価の上昇が顕著であった。前年度と比べA評価、D評価の割合に大きな変化がないため、B評価の割合の上昇が、C評価の減少につながっている。

指名に影響を及ぼす恐れのあるE評価はなかったが、改善を要するD評価が3件と、全体的な割合は少ないが依然として、64点以下の工事がなくなる現状であった。

図2. 平成29年度工事成績評定結果（工種別総合評価）

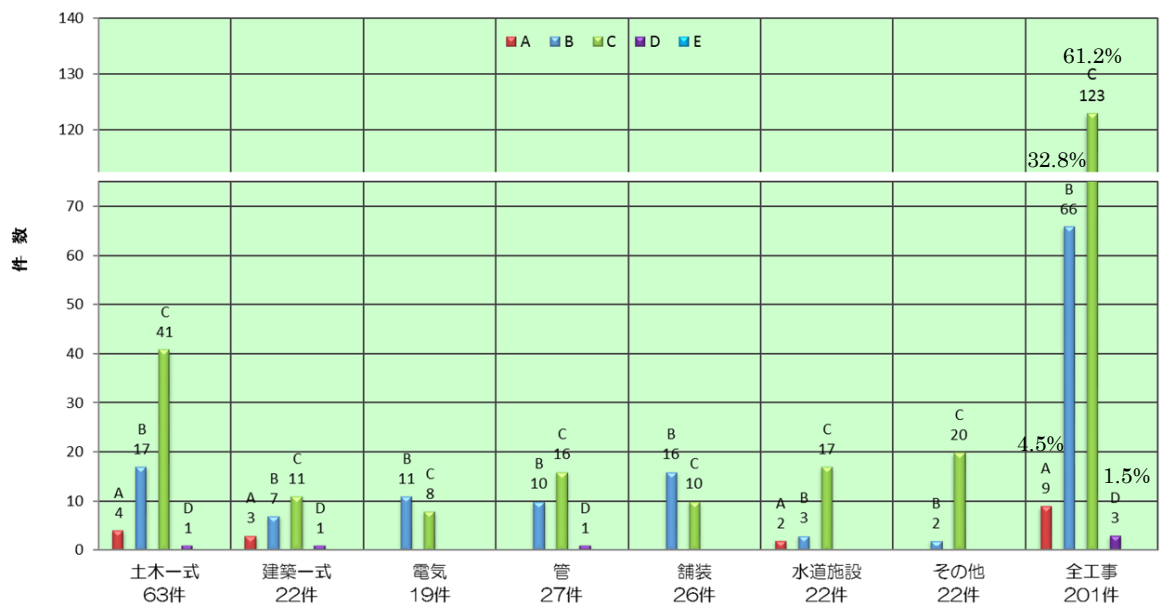
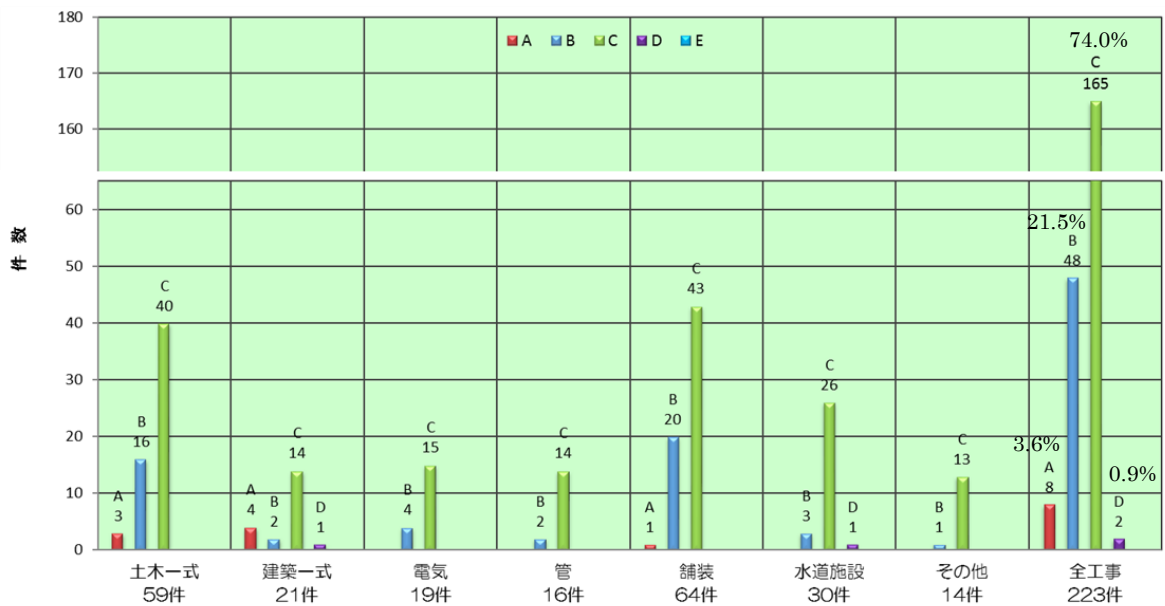


図3. 平成28年度工事成績評定結果（工種別総合評価）



総合評価の標準

ランク	評定点の標準値	総合評価の標準	
A	80 点以上	他の模範となる優秀な工事	
B	75～79 点	標準的 工事	A ランクではないが、標準的工事の中で優秀なもの
C	65～74 点		標準的な工事
D	60～64 点		E ランクではないが、今後改善すべき事項がある工事
E	59 点以下	今後指名等に影響を及ぼす恐れのある工事	